

**パブリックコメント実施状況**  
**高浜市人口ビジョン(案)・高浜版総合戦略(案)に対する意見及び回答**

1 パブリックコメント実施状況

- (1) 意見の提出期間 平成 28 年 1 月 15 日 (金) ～平成 28 年 1 月 29 日 (金)
- (2) 意見件数 8 件 (人数 2 名〔内訳：意見提出箱 0 名、直接 0 名、郵送 0 名、ファクス 0 名、Eメール 2 名〕)
- (3) 意見対応 ①修正します (意見に基づいて、原案を修正したもの) : 0 件  
 ②原案どおりとします (意見を検討したが、原案どおりとしたもの) : 7 件  
 ③意見として承ります (原案の内容以外の意見を承ったもの) : 1 件  
 ④その他 (感想やご質問など) : 0 件

2 意見と意見に対する回答 (案)

番号	意見箇所	意見	回答	対応
1	高浜市人口ビジョン 9ページ	<p>転入超過についてその要因をもっと追究した方がいい。 やむを得ない事情があって転出転入がなされるわけだが、その具体的な理由や考えを把握することによって初めて転入を増やす方策、転出を抑制する具体的方策が明らかになるはずである。</p> <p>その要因の中には市として対応できない理由が含まれるだろうけどそれは仕方ない。</p>	<p>ご意見のとおり、転出転入の理由については、窓口アンケート(※)の結果によると個人個人で様々であり、その要因分析を突き詰めていくことで、その対応策にたどりつくものと考えております。</p> <p>今回の人口ビジョンでは、なぜ高浜市に転入してくるのかという個々個別の理由までは調査できておりませんが、総合戦略とあわせ人口ビジョンも最新の状況において毎年度、更新してまいります。</p> <p>今後はさらに詳細な分析に取り組んでまいります。</p> <p>※平成 27 年 5 月 11 日～5 月 29 日の間で、市民窓口グループ窓口において、転入・転出理由ヒアリング (アンケート) を実施しました。(調査件数 転入 62 件、転出 59 件)</p>	②原案どおりとします

2	高浜市人口ビジョン 10ページ	<p>衣浦東部行政圏域の転入転出の要因を明確に把握する必要がある。</p> <p>図を見ると碧南、西尾への転出が超過し、他の市からは転入が多い。その要因を市としてどう分析し要因を把握しているのか。</p> <p>都市間の地価が影響しているという見方もあるようだが、他の要因も市として把握しているのだろうか。</p> <p>各市の住宅の新築戸数（率）を比較し、差が出ればその要因を追求してみることも一つの手ではないだろうか。</p> <p>他の要因も考えられるだろうが、真の要因を明確化することよりの的確な対応策がとれると思う。</p>	<p>ご意見にもありますように衣浦東部行政圏域の転入転出の要因については、1人ずつアンケート調査を実施する必要があると考え、上記番号1回答にもありますとおり、窓口アンケートを実施しましたが、サンプル数が少ないためさらなる調査が必要ではありますが、その結果や現在把握している客観的データから判断した場合、都市間の地価の差異が最大の要因として考えられるとしています。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり住宅の新築個数（率）など、別の視点からの要因分析も必要であります。</p> <p>人口動向は刻々と変動しておりますので、今後さらに詳細な分析に取り組んでまいります。</p>	②原案どおり とします
3	高浜市人口ビジョン 12ページ	<p>直近の流動（H24～H26）で、転入時が単身で、転出時は配偶者等とともに、という理由・要因が分析されていない。</p> <p>若い世代の人は単身で転入しそのまま転出していく理由も明確にすべきではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、さらなる理由・要因分析は必要と考えております。窓口アンケートをすでに実施してはおりますが、サンプル数が少ないため、今後は、転入・転出者を対象とした転入・転出理由に関するアンケート調査をサンプル対象を増やし実施するなど、さらに詳細な分析に取り組んでまいります。</p>	②原案どおり とします
4	高浜市人口ビジョン 13ページ	<p>この表がわかりにくい。</p> <p>外国人にしほり、もう少し長期の推移を分析する必要があるのではないか。</p>	<p>今後、更新をしていく中で、分かりやすい表現となるよう工夫してまいります。</p>	②原案どおり とします
5	高浜市人口ビジョン 16ページ	<p>当市と碧南市の住民の所得が低い理由は何か。人口増の経済的理由対策のためには、要因分析が必要だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、さらなる理由・要因分析は必要と考えております。</p>	②原案どおり とします

		刈谷市の所得が多いのは管理職系の人が多く住んでいるからと聞いたことはあるが。	刈谷市との差として管理職の方が多いとのこと意見では、国勢調査結果からは高浜市の方が総人口に占める管理職の割合は高いですが、会社団役員は刈谷市の方が高いなど、様々な視点がございます。 今後の要因分析の参考とさせていただきます。	
6	高浜市人口ビジョン 18ページ	極端なシミュレーションと断ってはいるが、合計特殊出生率「0.0」の推計は不要。当然のことなので言葉で述べるにとどめ、グラフは削除した方がいい。	シミュレーション5については、高浜市の人口増減については、転入・転出による社会増減より、出生・死亡による人口増減の方が影響度が高いということも示しており、グラフにより可視化した方がより分かりやすいものと考えております。	②原案どおり とします
7	高浜市人口ビジョン 全体	全体のまとめ方、流れとしてはいいと思う。 しかし、いえることはその答えを導き出すための要因分析が不足していると思う。真の要因を把握してこそ、間違いのない対応策が立てられるわけであり、その点で、この冊子で述べられている解析資料だけでは誤った施策をとってしまう危険性があることが危惧される。 手間暇がかかることかもしれないが、上記した要因の把握と分析を追加実施されることを望みます。 Contingency Plan（不測事態対応計画）を策定しておくこと望みます。これまでもリーマンショックという不測事態が起り、企業も行政も大混乱に陥った。昨今中国経済破綻含みの懸念もあるし、世界経済の成り行きは不透明です。その不測事態が起きた後の具体的な人口ビジョンまで現時点では対応できないと思いますが、どういう不測事態がありうるかを研究し、もしそれが起こった時には行政	ご意見のとおり、まだまだ分析すべき点は多々あると思っており、さらなる調査・分析を進めてまいります。 また、人口ビジョンの作成においては、国が作成しました地域経済分析システム「REASAS」を活用しているところでありますが、REASASも今後はさらに情報を充実していくとしており、情報が充実すればさらなる要因分析も可能であると考えております。 さらにご指摘のとおり、本市の人口の社会増はリーマンショックを境に増加幅が縮小しており、企業が集積する地域だからこそ景気に人口増減が左右されるところも大きいと感じております。 加えて、災害等の発生など様々な不測事態の懸念はございます。	③意見として 承ります

		<p>としてどういう体制をとるか、どういう方針で臨むかというようなことは考えておいた方がいいのではないでしょうか。</p>	<p>そこで、本市では不測事態発生時にも継続的した行財政運営ができるよう、「長期財政計画」を策定し、不測事態発生時には行財政改革に着手し、抜本的な経費の削減をはかるなど緊急に対応するとしております。</p>	
8	高浜版総合戦略全体	<p>いろいろと提案されていますが、どうも基準がはっきりしないので、せっかくの提案が他人事のように聞こえます。基準を、例えば「税金」としたら如何でしょうか。</p> <p>税金を、2020年に120億円、2025年に130億円、2030年には150億円にするんだ。そのためには次のことをします。市民の皆さん協力してください。としたら如何でしょうか。わかりやすいし、責任も生まれます。</p> <p>P16の「加わってつながるミライ」では、これが成功した暁には、1億円の税金増が見込めます。ということならばわかりやすいし、結果、子供を生き育てられる社会環境を・・・とつなげられると思います。是非検討してください。</p>	<p>ご意見のとおり計画の実現には財政的な裏付けは必要であり、実現に向けた財源の確保も重要であると考えております。</p> <p>しかしながら、税金が増加したから高浜市に住みたい人・住み続けたい人が増えるということは必ずしもつながらず、高浜版総合戦略が目指すところであり①生産年齢人口の維持・増加を目指す②結婚・出産・子育ての希望を実現する③超高齢化社会など一歩先の時代を見据えた地域を構築する。の達成度合いを分かりやすくはかる指標としては、10ページに掲げる2つの指標を総合戦略全体の成果目標としてまいりたいと考えております。</p>	②原案どおりとします